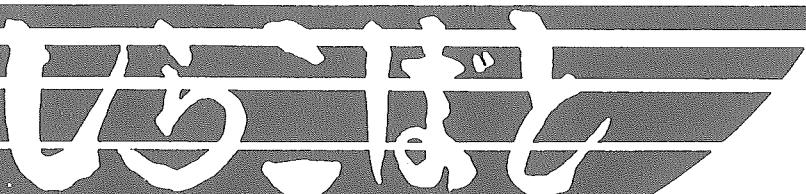


昭和 63 年 8 月 2 日第 3 種郵便物認可

平成 12 年 4 月 1 日発行（毎月 1 回 1 日発行）第 192 号

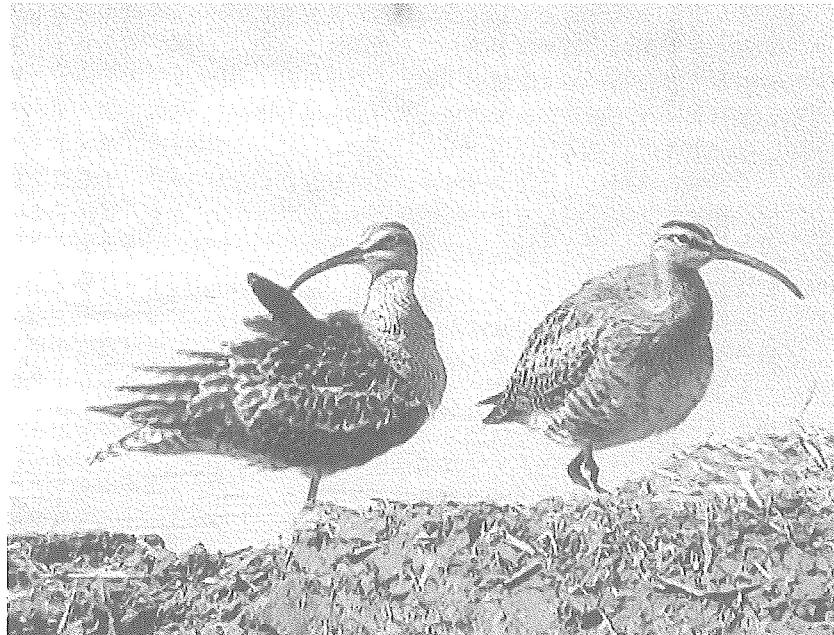
SHIRAKOBATO



2000. 4

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 192

日本野鳥の会埼玉県支部

# 超望遠ビデオ のノウハウ I

海老原美夫（浦和市）

フィールドスコープと小型家庭用ビデオカメラの組み合わせで、4,000mm位のスチール写真に匹敵する高倍率のビデオ映像が、手軽に、かなりの高画質で撮影できる！何年か前に当支部の元幹事・町田好一郎氏が始めた撮影方法は、その後多くの人たちの創意工夫がつけ加えられて発展し、野鳥の撮影を目指す人たちから「埼玉県支部方式」と呼ばれ、注目されています。

機材の変化などに伴う最近の情報を合わせて、あらためてご紹介しましょう。

## ●基本的なシステムは

略図の通りです。要するに「接眼レンズのないフィールドスコープ本体+ビデオ撮影用の接眼レンズ+ビデオカメラ」が、その中心です。

そして、それを支えるのが「ビデオカメラの高さを調節する部品+台座」であり、以上の全体を支えるのが「雲台+三脚」です。

望遠鏡本体と接眼レンズはネジ込みで一体になります。

望遠鏡の接眼レンズとビデオカメラのレンズの間は、ネジ込みなどで一体にはなりません。台座の上で近くに接して置かれているだけです。

## ●フィールドスコープ本体

私たちが鳥見に使っている望遠鏡ならどれでも良いはずですが、次に説明するビデオ撮影用の接眼レンズを使えるのがニコン製品に限られますので、私はニコンのED78を使っています。

かつては写真撮影用の望遠レンズと、「ダハプリズム+接眼レンズ」の手作り部品を組み合わせて使っていたこともあります、今は望遠鏡本体に、ビデオ撮影用接眼レンズを使った方が最も良い結果が得られます。

構造上、傾斜型は組み合わせが難しいでしょう。直視型の方が適しています。

## ●ビデオ撮影用の接眼レンズ

もともと望遠鏡についている接眼レンズでも、撮影することはできます。しかし、20倍や15倍では倍率が高すぎますし、光学上の特性がビデオ撮影用にできていないので、絞りの影が写って、画面の一部が暗くなってしまうことがあります。

ビデオ撮影用として販売されているのは、ソニーのズームアイ（型番VCL-FS1K）の接眼レンズ（10倍）です。ズームアイというのは台座と望遠鏡本体も合わせたセット（定価10万円）ですが、売り出されてから年数がたったものですから、なじみのカメラ店などでうまく交渉すれば、接眼レンズだけを部品扱いで取り寄せることもできます。口径の大きなレンズのビデオカメラ用の接眼レンズ（型番VCL-V10FS）は初めから別売りされています。もちろん、台座・望遠鏡本体・接眼レンズをまとめて買いたい時は、ズームアイセットを丸ごと買うのが一番簡単です。

## ●ビデオカメラ

まず、台座との関係で、三脚穴が高さの調整ができる範囲内の位置にあるかどうかを見る必要があります。頭の中でいろいろ組み合わせを考えみて、更に店頭で実物を手に取り、寸法を測ってみましょう。

画質は、ハイ8よりデジタルの方が、デジタルでは、1CCDより3CCDの方が優れています。3CCDのデジタルであれば、放送用にも使える画質が得られます。画質の違いは編集した後も明らかに影響が出ます。ビデオ映像から静止画のプリントを作る時もやはり画質は違ってきます。

結局は撮影しようという目的と予算に合ったものを選ぶということになりますが。

## ●高さ調節の部品と台座

横方向の光軸調整は、台座に対して望遠鏡とカメラをそれぞれ水平方向に少し斜めにすればなんとでもなります。問題となるのは高さ、上下方向の光軸調整です。

日本野鳥の会が販売していたマルチビデオアジャスターは既に製造中止で、在庫も残っていないません。

某社がかつて売り出していた高さ調節出来る台座は、位置が雲台から大分高くなるもの

ですから、ブレが増幅されるおそれがあり、私はテストしてみたこともありません。まだ売られているのでしょうか。

今考えられる方法は、

(1) ズームアイの台座を使う。

接眼レンズと同じく、うまくすれば部品扱いで取り寄せできます。ただし、セット価格で10万円の中の大きな部品ですから、あまり安くはないようです。ソニー以外のカメラやソニーのカメラでも、機種によってはうまく調節できないこともあるとのことです。ご注意ください。

(2) 自分でなんとか工夫する。

これが一番楽しいのです。

台座本体（プレート又はストレートバー）は、スリック、ベルボンなど三脚専門メーカーと、ユーエヌなどの写真用品メーカーがいろいろ売り出しています。

ところが、高さ調節の部品というのは、そのままの目的でどんびしゃりのものは、販売されていません。

私の場合は、ハクバのクイックシューという部品に、日曜大工用品店で売っている厚さ2mmと1mmのゴム板を合わせて高さを調節し、ユーエヌのストレートバーの止めネジを長いものに交換して締めつけています。

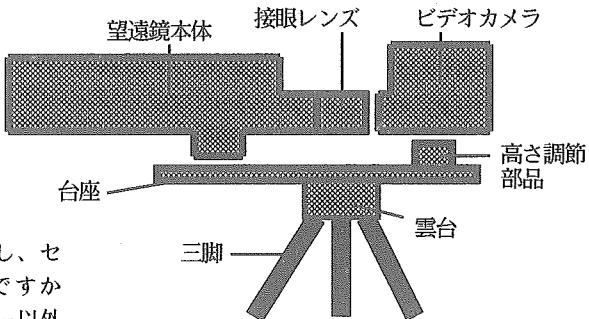
かなりマニアックになって、一般的な話ということはできませんが、いろいろなメーカーのいろいろな部品がいろいろな厚さで出ていますので、自分のビデオカメラと望遠鏡に合う工夫を楽しんでください。一番肝心のこの部分については、それしか言いようがないのです。すみません。

### ●雲台と三脚

割と軽視されてしまいがちですが、良質な映像を撮るために重要な部分です。

スチール撮影は一瞬を切り取りますが、ビデオ撮影では、画面を左右に動かす動きそのものが映像に残ります。スチール写真用の雲台では動きがぎくしゃくしてしまいます。ビデオ撮影用の雲台は、滑らかに動かせる構造になっています。

また、スチール写真に換算して4,000mmもの画角で撮影するのですから、ほんのわずかなブレでも画面上では大きな揺れとなり、



大見づらい画面になります。いわゆる“船酔いビデオ”です。

三脚メーカーの常識を越えた高倍率の使い方ですから、メーカー側のデータはありません。実験的に試したところでは、「望遠鏡+ビデオカメラ」の重さが4kg位でも、耐荷重量10kg程度の頑丈さの三脚と雲台が欲しいところです。私は、ダイワというビデオ用三脚メーカーのVT338という三脚と雲台をしばらく使っていました。

その後、ダイワの三脚が壊れてしまって、ジッソのカーボン製ビデオ用三脚G1338に、ダイワVT338の雲台を乗せました。間に厚さ2mmのゴム板を入れています。ブレもなく、動きもなめらかで割と軽く、今のところ満足しています。三脚と雲台を合わせて重さは約4.5kg。フィールドワークでは重さも重要です。望遠鏡からここまで全部で約9kg近く、この辺が私には限界でしょうか。（余談ですが、ダイワはその後ケンコーに吸収合併されたことです。）

### ●実際の撮影とその後の映像の活用

倍率が高いものですから、鳥をファインダーに入れるだけで一苦労です。また、撮影した映像は、テレビ画面で見るだけではなく、作品に纏めたり、プリントしたり、いろいろ楽しみたいものです。

実際に撮影するまでの工夫や映像の活用方法などは、次回に説明します。

なお、最近ニコンからフィールドイメージシステムMXというのが売り出され、『野鳥』誌などで宣伝されています。これはビデオカメラの一部であるCCDだけを望遠鏡にとりつけるもので、ここで説明した方法（正確に言うと、デッキ一体型のビデオカメラを望遠鏡につなぐ方法）とは、全く別のシステムです。

白馬山麓まるごとウォッキング  
百瀬 修（浦和市）

車窓から仰ぎ見る白馬連山の秀麗な美しさに、思わず息を呑んだ。

唐花見湿原に着いて、小池メインリーダーの挨拶と説明。「今日、明日と、鳥だけではなく、樹木や落ち葉なども…」。落葉図鑑片手のお話に、思わず引き込まれていく。

歩き始めて間もなくフィフィッとベニマシコの声。期待がふくらむ。

午後の居谷里湿原に入る直前、アオゲラとベニマシコの雄を、近くの木で同時にゆっくり見るという幸運に恵まれた。アオゲラはキハダの実を夢中でついぱんでいた。

谷の対岸に、真っ赤な葉をつけた木が2、3本、陽を浴びて幹が白く見える。白馬と岐阜県にしか無いと聞くハナノキだ。

夕方「にほめの一歩」に入る。タヌキを見て、山の自然を実感する。

2日目の早朝探鳥。浅間（せんげん）山林道を登ると樹々の間から白馬三山が美しい全容を惜し気もなく見せてくれる。宿近くで30羽あまりのアトリの群れを見て目がさめた。

朝食の後、落倉林道を上り下りするが、何故か鳥が少ない。ミズナラの木の前で、「クマはこの木の葉が好きで、木の枝に葉を敷いた上に座って食べます」と小池リーダー。今にも目の前にクマが出そうな気持ちになるから不思議だ。

午後は姫川源流の親海湿原へ。ほとんど乾いているような湿原のアシ原に、何かの種子を探っているのか、ベニマシコの雄が再三その美しい姿を見せる。

11月6日～7日、2日間の鳥合わせの結果は、野鳥45種、野生動物4種、樹木23種、草



本14種、昆虫7種。

樹木のこと、木の実、草の実などの鳥の餌等の周辺知識をもっと勉強してみよう。そうすればバードウォッキングの楽しみも倍加するであろうと、しみじみ感じた旅だった。

続・春鳶轉

内藤義雄（鴻巣市）

春の野に鳴くやうぐひすなつけむと

我が家の園に梅が花咲く 志紀大道

万葉の歌人は庭に梅の木を植えて、鳶が来て鳴くのを待つて居るのですね。

今年は春が早かったので、早々と初音は聞けたと思うけれど、いかがでしたか。

ところで多くの鳥見人の皆さんのが鳥を見て楽しむ基本は、方法はともあれ、まず鳥を見つける、見極めていくところにあると思う。ところが鳶はそれ等を超えて、古くから、深く幅広く存在感を持ち続けてきている鳥の一種だと思うようになった。

鳶を国語大辞典等で調べると、別名を始め、その名にちなんだ名称や語彙が驚くほどに多く、衣装、食品、植物、遊具、香・茶道、化粧、地名、塚、関、建築関係等々に及んでいる。それは美しい鳴き声の鳥として、古き時代には暖かくなる季節を教え、親しまれつづけてきたのだろう。さらに万葉の時代、平安時代と多くの歌人によって詠まれ、それが「梅に鳶」なる語をうむ一因にもなったのだろう。

そんな一例として地名等に係わるもので、「枕草子」にみられる（うぐひすの陵）とされる、奈良若草山の古墳がよく知られているけれど、ここ埼玉にも鳶にまつわる史蹟があるのをご存じでしたか。

当支部が刊行スタッフとして参画執筆もした『埼玉見て歩き・県北版』(幹書房出版)の49頁に、荒川の懸崖に建つ「鳶の瀬」とした石碑の写真を紹介している。それは「畠山重忠（1164-1205）が、豪雨にあい荒川の増水で川を渡れずにいると、鳶が美しい声で鳴き浅瀬を教えてくれた。」という故事によるものだが、重忠は、一体鳶の声をどのように（聞きなし）をしたのだろうか。…ということで、またまたさえずらせてしまった。

## シラコラム

調査が始まったばかりなので、目立たないようになっていたのに、3月2日の毎日新聞埼玉版でシラコバトの調査が大々的に報道されてしまいました。同紙の『さいたま動物記』にシラコバトを載せる取材中に支部のホームページを見て、電話取材があったのです。いよいよ後に引けなくなってしまいました。会員の皆さん、「シラコバト見つけ隊」を見捨てないで、観察情報を沢山下さい。

お願いします。

### ■シラコバト旬間

4月1日（土）から4月9日（日）までの9日間、集中してシラコバトの観察を行う「シラコバト旬間」にしたいと思います。皆さんの周りのフィールドでシラコバトを探して下さい。

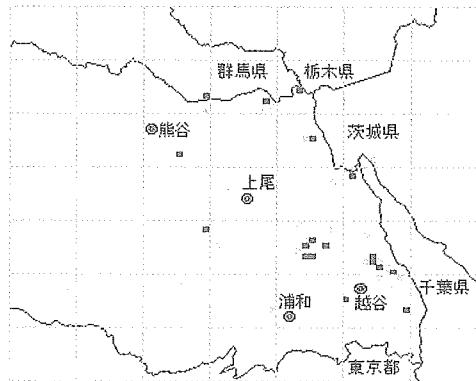
観察報告は1人何件でもかまいません。1月号4ページの書式に必要事項をご記入の上、巻末の支部事務局へ郵送またはFAXでお送り下さい。インターネットの支部ホームページからも入力が可能です。ぜひお試し下さい。

また、以前はよく見たのだが、この1～2年見ることが無くなったというネガティブレポートも歓迎します。○○公園一帯とか△△市××1丁目程度の区域で情報を寄せ下さい。1月号4ページの書式に「見なくなった情報」と書いて下さい。近辺の環境も忘れずにご記入下さい。

### ■シラコバト情報マップ

下図は2月27日までにご報告いただいた情報を地図上にプロットしたものです。報告件数76件、3次メッシュ（2万5千分の1地形図の縦横10等分の区域で約1km四方）で50区域、プロットは1メッシュの大きさに相当します。黒色は10羽以上の報告または複数の報告があった区域、濃灰色は5～9羽の報告、淡灰色は5羽未満の報告があった区域を表します。

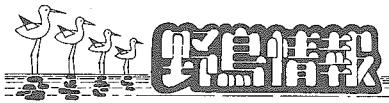
浦和と熊谷を結ぶ荒川の両岸には、確実に潜んでいると思います。それ以西の空白域にお住まいの方も、近所を探して空白を埋めて下さい。



### ■シラコバト観察報告

1月5日	富士見市南畠新田785 牛小屋周辺	4羽 坂本孝一郎
1月9日	岩槻市綾瀬川土手 障害者福祉施設横	8羽 木間 秀
1月14日	越谷市北川崎 聖徳寺参道付近	2羽 野村 修巳
1月16日	越谷市北川崎 聖徳寺参道付近	2羽 野村 修巳
1月26日	蓮田市黒浜3702-14	2羽 長嶋 宏之
2月5日	鴻巣市人形4-3-15	1羽 内藤 義雄
2月6日	越谷市北川崎 聖徳寺参道付近	2羽 野村 修巳
2月6日	岩槻市平林寺 東京コンテナ廃屋敷林	2羽 櫻本 建七
2月7日	幸手市宇和田公園西側 養鶏場	10羽 野村 修巳
2月8日	羽生市中央5-9-26	2羽 四分一保雄
2月8日	吉川市須賀 中川右岸	3羽 野村 修巳
2月12日	幸手市上宇和田109番地	1羽 田村 弘之
2月13日	岩槻市東岩槻3丁目	1羽 中村 荣男
2月13日	岩槻市東岩槻1丁目	1羽 中村 荣男
2月14日	栗橋町松永 海洋センター付近	1羽 宮田 弘
2月14日	大宮市深作遊水池脇民家の屋敷林	2羽 櫻本 建七
2月16日	大利根町旗井1588 大利根ハイツ	1羽 宮田 弘
2月17日	岩槻市古ヶ場 本荒川に面した屋敷林	1羽 櫻本 建七
2月18日	三郷市彦成 新三郷駅ホーム	4羽 松延 尚
2月19日	羽生市常木 牛小屋	22羽 四分一保雄
2月19日	蓮田市篠山 元荒川揚水機場	1羽 中崎 尚之
2月24日	越谷市北越谷 健康福祉村東	2羽 大塚 操
2月24日	岩槻市平林寺 酒井運送裏側斜面林	1羽 櫻本 建七

(以上2月27日までにシラコバト見つけ隊に届いた報告から)



熊谷市 ◇12月26日午後2時頃、熊谷駅前星川通り上空でカラカラ1羽。空の高みを5~6羽の鳥にモビングされながら飛んでいた。川越で出て以降、県北で出没しているという話はほんとうだったんですね（榎本秀和、秀穂、瑞穂）。

東秩父村二本木峠 ◇1月2日、ベニマシコ、♂♀各1羽、シロハラ3羽、ノスリ1羽、オオタカ1羽、エナガ、シジュウカラ、コガラ、ヤマガラ、コゲラの混群、カシラダカ約70羽（後藤康夫）。

川本町荒川 ◇1月3日、明戸堰上流でトラツグミ1羽（当地初確認）、イカルチドリ3羽、クサシギ1羽、オオタカ2羽、ノスリ1羽、トビ1羽、コハクチョウ11羽、ホオジロガモ♀2羽（後藤康夫）。

鴻巣市渡内 ◇1月4日、糠田排水機場でオシドリ♂1羽、当地では初めて。クサシギ1羽、越冬中。カワセミ♀1羽（石井智）。  
◇1月23日、オシドリ♂1羽（榎本秀和、秀穂、瑞穂）。

吉見町荒川河川敷 ◇1月6日、運動公園でノスリ1羽（石井智）。

吉見町長谷 ◇1月6日、遊水池でオカヨシガモ16羽（石井智）。

坂戸市城山 ◇1月16日、シロハラ、カケス、ベニマシコ♂♀、エナガ、コガラ、ヒガラ、シジュウカラ、コゲラ、メジロ、シメ（後藤康夫、増尾隆）。

蓮田市黒浜沼 ◇1月5日、上沼北側のアシ原の木でオオタカ若鳥1羽、近くの道路を人が通っても平気。クイナ1羽。1月6日、南側林内の道路上でジョウビタキ♀1羽、ルリビタキ♀1羽。上沼北側のアシ原の木でアオゲラ1羽。アカゲラ2羽が飛んでいた。タシギ6羽、ハジロカツブリ1羽

#### 表紙の写真

##### チュウシャクシギ（チドリ目シギ科ダイシャクシギ属）

昨年4月29日、田植え直前の浦和市大久保農耕地で撮影しました。

私も自転車も、今年も健在です。

（鈴木紀雄）。

三郷市江戸川周辺 ◇1月8日、常磐自動車道の北方約1kmの江戸川の西の田んぼ（吉川市）でタゲリ9羽。1月9日、流山橋の約800m上流でヒドリガモ100羽以上の群れ中にアメリカヒドリ♂1羽。1月15日、常磐自動車道の南にあるアシ原でホオアカ冬羽1羽（高田範之）。

三郷市みさと公園 ◇1月15日、小合溜でホオジロガモ♂エクリプス1羽。当地初確認（高田範之）。

浦和市秋ヶ瀬 ◇1月10日、子供の森でクロジ♂、♂若鳥、♀各1羽の3タイプ揃い踏み。1月22日、ピクニックの森でミヤマホオジロ♀1羽、マヒワ♂2羽。1月30日、野鳥園でアトリ冬羽2羽。ピクニックの森でマヒワ♂2羽。三つ池でアカハラ2羽（高田範之）。

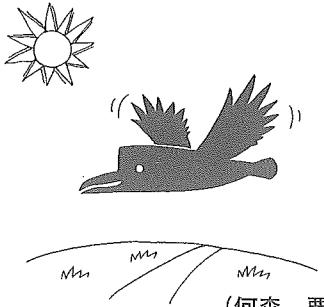
戸田市道満彩湖 ◇1月10日、幸魂大橋近くの36番鉄塔にとまっていたハヤブサ1羽がヒヨドリ2羽に襲いかかった。二兎を追う者…の例え通りか失敗（高田範之）。

所沢市 ◇1月8日午後3時過ぎ、突然足下からバサバサッと飛び立ち、コナラの木に。こちらを向いてとまった。見ると、なんとフクロウ。こんな身近にいるとは。驚きと感動の午後だった（小林茂）。

大宮市大谷 ◇1月11日、大宮環境広場の草地でタシギ12羽、イカルチドリ6羽、タゲリ2羽。1月12日、イソシギ1羽。1月17日、タヒバリ多数。タゲリ2羽、イカルチドリ9羽、タシギ9羽、カシラダカの群れ（鈴木紀雄）。

編集部註：本欄の「当地初確認」とは、報告者にとってその地で「初」という意味です。

# 行事あんない



(何森 要)

## 北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：4月2日（日）

集合：午前9時、北本自然観察公園駐車場。

交通：JR高崎線北本駅西口アイメガネ前より北里メディカルセンター病院行きバス8:40発にて、「自然観察公園前」下車。

担当：岡安、大坂、内藤、島田、高（文）、立岩、永野（安）、永野（京）、高（剋）、山田、今井、山野

見どころ：鳥見と花見の欲張り企画です。桜前線は当日にピタリと標準を合わせてただ今北上中です。過去の出現記録を操って見ると案外鳥種も賑やかです。散会後の宴を期待されている方は各自で準備願います。

## 浦和市・民家園周辺定例探鳥会

〈見沼ヘルシーロードコース〉

期日：4月2日（日）

集合：午前9時、浦和市くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR浦和駅西口バス1番乗り場より、さぎ山記念公園行き8:15発に乗車、または大崎園芸植物園行き8:36発に乗車にて「念仏橋」下車。

後援：浦和市くらしの博物館民家園  
担当：手塚、工藤、倉林、吉岡（洋）、若林、前澤、笠原

見どころ：暖かく気持ちの良い季節を迎えた見沼たんぼ。冬鳥たちはだいぶ帰って

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。悪天候の時は中止、小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

しまったけれど、「おひさしぶり！」  
っていう感じのツバメたち、夏鳥が来はじめています。桜をはじめ花たちも満開、いいところです。

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：4月9日（日）

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居8:49発に乗車。

担当：和田、森本、中島（章）、石井（博）、倉崎、松本、中里、高橋、後藤

見どころ：大麻生名物ニュウナイスズメの季節がやって来ました。昨年は雨で中止になりましたので、今年はぜひ会いたいですね。猛禽類もご期待ください。土手の桜、運行を再開したSLの力強い走りも見られ、楽しみがいっぱいです。

## 浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：4月16日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口（集合後バスで現地へ）。または午前9時、浦和市立郷土博物館前。

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、手塚、倉林、渡辺（周）、笠原、若林、兼元、森、清水、前澤

見どころ：見沼たんぼを囲んで、代用水に沿って植えられた桜も10年になるだろうか。いつのまにか大きな樹に育った。第3日曜なのでいつも名残の桜となっ

てしまうけど、花々と木々の緑が、去る鳥、来る鳥が参加者を迎えてくれる。そんな鳥たちに会いにお出でください。

### 浦和市・秋ヶ瀬大久保農耕地探鳥会

期日：4月23日（日）

集合：午前8時、JR浦和駅西口ロータリー  
(集合後バスで現地「やつしまニュータウン」へ)。

担当：福井、楠見、小林、海老原、倉林

見どころ：2年続いて雨だったので3年ぶり。  
こんな事も珍しく、鳥たちも、雨宿りしながら探人会ができずに残念がって  
いたはず。今年はきっと晴！。

### 北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：4月23日（日）

集合：午前9時15分、東武日光線柳生駅前。

交通：JR宇都宮線大宮8:19→栗橋8:53着栗橋にて東武日光線乗り換え8:58発。または東武日光線新越谷8:20→春日部8:37→栗橋8:58→柳生9:08着。

担当：橋口、玉井、内田、高(剋)、高(文)、入山、田邊、中里

見どころ：渡りの季節、いつも何かしら期待できる渡良瀬です。谷中湖の残りガモや谷中村史跡の林で羽を休める夏鳥を探します。昼食持参でお出かけ下さい。

### 東松山市・物見山探鳥会

期日：4月23日（日）

集合：午前9時30分、物見山駐車場（峠を越えた右側）。

交通：東武東上線高坂駅西口より、東武バス鳩山ニュータウン行き8:58、9:08発にて「大東文化大学前」下車、徒歩約5分（バス進行方向へ峠を越えます）。

担当：島田、榎本、岡安、藤掛、志村、立岩、後藤、吉田、林（久）

見どころ：みどりの週間です。雑木林や針葉樹林の丘陵地でアオジ、メジロ、カラ類を探し、足元に咲くチゴユリやスミレの仲間も見ましょう。山間に拡がる農地ではオオタカなどの猛禽類、岩殿

観音付近の藪ではヤブサメの声を耳にすることができますかも知れません。

### 春日部市・内牧公園探鳥会

期日：4月29日（土・祝）

集合：午前8時30分、東武伊勢崎線春日部駅西口東武1番バス停前（集合後バスで現地へ、8:45発にて「高野台」下車）。または午前9時15分、アスレチック公園前駐車場。

担当：吉安、中村（榮）、橋口、篠原、入山、松永、宮下、新井（良）、吉岡（明）

見どころ：若葉のすがすがしい屋敷林や斜面林で、渡り途中の夏鳥に期待しましょう。また田植えの間近い田んぼではムナグロに会えるかも知れません。

### シギ・チドリ類県内調査

期日：4月29日（土・祝）

埼玉県支部では、春と秋の2回、独自にシギ・チドリ類の調査を行っています。特に下記の地点では、より多くの会員の参加・ご協力をお願い致します。

#### ◆秋ヶ瀬（浦和市・大宮市）

集合：午前9時30分、大久保浄水場の北西角近くの土手の上、グランド入り口。

担当：石井智

解散は昼頃の予定です。調査のため参加費は不要です。雨天でも行います。

### 「しらこばと」袋づめの会

とき：4月29日（土・祝）午後1時～2時頃

会場：支部事務局108号室

#### ◆5月の行事予定

5月5日（金・祝）：谷津干潟探鳥会

5月7日（日）：黒浜沼探鳥会

### 東京都・三宅島探鳥会（要予約）

期日：5月12日（金）夜行～14日（日）

集合：12日20時30分 JR山手線浜松町駅（東京駅寄り改札口前）。

帰着：東京港に14日20時30分頃の予定。

費用：25,000円の予定（1泊3食付き宿泊費、特2等往復船賃、保険料等）。  
万一過不足の場合は当日精算。島内で  
のバス代は別途各自負担。

定員：16名程度（先着順、支部会員優先）

申込み：普通葉書で榎本秀和（〒344-0  
まで。乗船名  
簿記入のため住所・氏名・年齢・性別・職  
業・電話番号・喫煙の有無を必ず明記。

担当：榎本、島田、北川

見どころ：今年もまた島と海と鳥の旅。ビッグな出会いが待っている憧れのバード  
アイランド。帰路の船上探鳥も楽しみ  
な、海鳥ウォッチングの入門編です。

注意：12日は船中泊、13日の宿は男女別の相  
部屋です。個室のご用意はできません。

#### 長野県・白馬山麓探鳥会（要予約）

期日：5月13日（土）～14日（日）

集合：13日午前9時15分、JR長野駅善光寺  
口（西口）駅前広場。

交通：長野新幹線「あさま503号」（東京7:00→  
大宮7:26→熊谷7:40→高崎7:54→長野  
8:50）。または「あさま1号」（東京7:32→  
大宮7:56→長野8:57）。

費用：10,000円の予定（1泊3食付き宿泊費、  
現地バス代、保険料他）。万一過不足  
の場合は当日精算。集合地までの往復  
交通費は各自負担。

定員：20名（先着順、支部会員優先）

申込み：往復葉書に住所、氏名、年齢、性別、  
電話番号を明記して、小池一男（〒36

担当：小池、岡安、藤掛、堀

見どころ：昨年の白馬はオオルリの鳴りを聞  
きながらの昼食やヒメギフチョウの華  
麗な舞い、残雪の白馬連山や姫川源流  
のバイカモなどが印象的でした。白馬  
の大自然まるごとウォッチング、今年  
はどんな出会いと感動が？。

注意：宿泊は男女別の相部屋です。個室はご  
用意できません。

#### 神泉村・城峯公園周辺探鳥会（要予約）

期日：5月13日（土）～14日（日）

集合：13日午前7時、JR大宮駅西口、代々  
木ゼミナール前。

交通：13日は貸切バス、14日は村営バスを利  
用。詳細は参加者に通知いたします。

解散：14日午後2時頃、JR高崎線本庄駅前。

費用：13,000円の予定（1泊2食付き宿泊費、  
バス代、懇親会費、保険料等）。

万一過不足の場合は当日精算。

定員：15名（先着順、支部会員優先）。

申込み：普通葉書に住所、氏名、年齢、性別、電  
話番号を明記して、橋口長和（〒344-0  
まで）。

担当：橋口、入山、玉井、中里

見どころ：横瀬町県民の森と神泉村百年の森  
を探鳥後、現地入りします。早朝、ク  
ロツグミなどのバードコーラスのシャ  
ワーを期待します。

注意：神泉村営コテージに宿泊、男女別の相  
部屋です。個室のご用意はできません。

#### 長野県・戸隠飯綱高原探鳥会（要予約）

期日：5月27日（土）～28日（日）

集合：27日午前9時10分 JR長野駅改札口前

交通：長野新幹線「あさま503号」（東京7:  
00→大宮7:26→熊谷7:40→高崎  
7:54→長野8:50）、または「あさ  
ま1号」（東京7:32→大宮7:56→  
長野8:57）

費用：11,000円の予定（1泊3食、現地バス  
代、保険料など）。万一過不足の場合  
は当日精算。集合地までの往復交通費  
は各自負担。

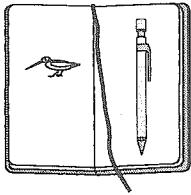
定員：30名（先着順、県支部会員優先）。

申込み：往復葉書に住所、氏名、年齢、性別、電  
話番号を明記して、菱沼一充（〒174-0

担当：菱沼（一）、北川、藤掛

見どころ：一度は訪れたい探鳥地。鳥たちの  
大コーラス、オオジシギのディスプレ  
イフライトなどを味わうと病みつきに  
なります。夜のソバと地酒もお楽しみ。

注意：宿は男女別の相部屋です。個室のご用  
意はできません。



# 行事報告

1月9日（日）春日部市 内牧公園

参加：36人 天気：曇

コサギ タゲリ キジバト コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ シロハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス（26種）開始早々、公園の池のところに何とイタチが出現し、さかんに歩き回るので、みんな探鳥そっちのけで大騒ぎ。この池の周辺でツグミ、シロハラ、ジョウビタキ、シメ、モズなど多数出現し、幸先がいい。更に歩を進めると、梅の木の近くでカケスが目の前を飛び去る。刈田の中でヒバリの群れとタヒバリを観察した後、遠くの刈田にタゲリを見つけ、みんなで見入っていると飛び立つ。その後、目の前にタゲリが出現し、またじっくり観察し、感激する。期待した冬鳥はほとんど出てくれて、満足した探鳥会。（吉安一彦）

1月9日（日）千葉県 船橋海浜公園

参加：36人 天気：曇

ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ヒドリガモ オナガガモ ホシハジロ スズガモ ビロードキンクロ ホオジロガモ ウミアイサ ミヤコドリ シロチドリ ダイゼン ハマシギ ミユビシギ イソシギ ユリカモメ セグロカモメ オオセグロカモメ カモメ キジバト ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ ジョウビタキ ツグミ ウグイス メジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス（33種）干潟と海に広がる鳥の群れを見ていると、動かなくても種類数が増える。スズガモ約3万、ハマシギ千羽。ビロードキンクロは初記録。期待を裏切らない三番瀬！（杉本秀樹）

1月10日（月、休）吉見町 吉見百穴周辺

参加：16人 天気：快晴

カイツブリ カワウ マガモ カルガモ コガモ トモエガモ ハシビロガモ ノスリ バン キジバト キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス（25種）低気圧の通過に伴う激しい雨が、集合時間直前にウソのようにあがる。気持ちよく晴れわたり、茂みの小鳥たちは元気いっぱい。樹上からは、ノスリがラブリーなまなざしを投げかけてくれた。大沼は水位が低く、ひじょうにカモが少ない。それでもトモエガモ♂1羽を見つけて、内心ムフフのうちに解散となる。（榎本秀和）

1月12日（水）滑川町 武藏丘陵森林公園

参加：23人 天気：曇後雪

カイツブリ カワウ アオサギ オンドリ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ ヒドリガモ ホシハジロ キンクロハジロ ミコアイサ ノスリ コジュケイ カワセミ コゲラ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス キクイタダキ エナガ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ アオジ カワラヒワ シメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス（35種）中島康夫支部長に新春のご挨拶をお願いしてから、スタート。エナガ、ヒガラ、シジュウカラの混群、そしてジョウビタキは出現してくれたが、ルリビタキはお休みだった。山田大沼に到着した頃より初雪が降り始めたが、オンドリ♂3、♀3をじっくりと観察。ミコアイサ♀1とヨシガモ♂1など9種類のカモを確認。なぜかカワウが営巣を始め、50以上の巣とヒナも確認できた。（藤掛保司）

1月16日（日）北川辺町 渡良瀬遊水地

参加：48人 天気：晴

カイツブリ ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ヨサギ アオサギ マガモ カル

ガモ コガモ ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリ  
ガモ オナガガモ ハシビロガモ キンクロハジ  
ロ ミコアイサ カワアイサ トビ オオタカ  
ノスリ ハイイロチュウヒ チュウヒ コチョウ  
ゲンボウ キジ タゲリ イソシギ セグロカモ  
メ シラコバト キジバト カワセミ アカゲラ  
ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバ  
リ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウ  
グイス シジュウカラ ホオジロ カシラダカ  
アオジ オオジュリン カワラヒワ ベニマシコ  
シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラ  
ス ハシブトガラス (53種) 案内に鷹見台までの  
強行軍と書いたせいか、参加者48人。1月の渡良瀬では珍しく風がなく穏やかな探鳥日和となった。  
谷中湖では例年になくカモの姿が少ないためか、  
パンダがやけに目立っていた。お目当ての鷹見台  
では、御三家のチュウヒ、ノスリ、トビに加え、  
ハイイロチュウヒやコチョウゲンボウまで姿をあらわし、終わってみれば53種の満足感と、足の疲  
労感の織りなす探鳥会であった。 (橋口長和)

#### 1月16日（日） 長瀬町 長瀬

参加：55人 天気：曇後晴

カツブリ カワウ オシドリ マガモ カルガ  
モ コガモ オナガガモ トビ オオタカ ハイ  
タカ ノスリ イカルチドリ イソシギ キジバ  
ト ヤマセミ カワセミ アオゲラ アカゲラ  
コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキ  
レイ ヒヨドリ ジョウビタキ ツグミ ウグイ  
ス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ  
カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ  
ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガ  
ラス (39種) 3年ぶりでオシドリを確認！でも6  
羽？ 年々越冬数が減少しているのだろうか？ ヤ  
マセミも確認できたりできなかつたりで、不安定  
になっている。観光名所で、通年人が遊びにくる  
ようになつた分、野鳥は住みづらくなっているの  
か？ と思つてしまつた探鳥会だった。

(小池一男)

#### 1月16日（日） 浦和市 三室地区

参加：64人 天気：晴

カツブリ カワウ ゴイサギ コサギ カルガ  
モ コガモ オナガガモ ハシビロガモ クイナ  
オオタカ バン ユリカモメ セグロカモメ キ

ジバト カワセミ ヒバリ ハクセキレイ セグ  
ロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウ  
ビタキ ツグミ シジュウカラ メジロ ホオジ  
ロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクド  
リ ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) 今  
年初めての探鳥会は、冬には珍しい暖かい日であ  
った。ゆっくり行こうと芝川に着くと、空をオオ  
タカ、目の前の川面をカワセミの翡翠の色が通り  
過ぎる。葦の間からひさしぶりにクイナ。ゴイサ  
ギもいつもの場所で日向ぼっこ。今年も鳥と、人  
の和を中心にやっていこう。来年には、三室の探  
鳥会も200回を迎える。

(楠見邦博)

#### 1月23日（日） 大宮市 花の丘公園

参加：55人 天気：晴

カワウ オオタカ ノスリ キジバト アカゲラ  
コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨド  
リ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウ  
グイス ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジ  
ロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ  
シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシ  
ボソガラス ハシブトガラス (29種) 天候に恵ま  
れ、風もなく、林、畑の間を進む。ノスリが多数  
のカラスに追われ、林に逃げ込む。カラスには、  
連絡の言葉があるのか、群れで次々に飛来。ノス  
リはさぞ困ったことだろう。新聞の案内で一般参  
加の方も多かつたが、じっくり鳥を見ていただけ  
なかつたのが残念。最後にやっと混群のヒガラ、  
ヤマガラ、メジロ、コゲラに会えた。一部の人た  
ちは、アカゲラ、ジョウビタキにも会えた。

(浅見健一)

#### 1月29日（土）『しらこばと』袋づめの会

ボランティア：16人

荒木恒夫、有馬雅男、海老原教子、海老原美夫、  
河辺修造、佐久間博文、篠原東彦、島田沙織里、  
島田貴子、原島浩、原田謙、福井昭子、藤野富代、  
増尾隆、松村禎夫、室和子

ご覧のようにタイトルが新しくなりました。  
作品をお寄せくださったのは、三芳町の澤田尋  
文さんです。どうもありがとうございました。

元はもっときれいなのですが、このページを  
作成しているソフトに取り込むと、少し画質が  
落ちてしましました。澤田さんごめんなさい。

## 連絡申長

### ●評議員会に出席

3月4日(土)都内渋谷区で財団法人日本野鳥の会の評議員会が開催され、全国から評議員が集まりました。

当支部からは、海老原美夫副支部長が評議員として、楠見邦博支部監事が、兼任している本部の監事として、高文子・藤掛保司両幹事(写真下)が傍聴人として参加しました。



主な議題は、理事の追加選出の件、平成12年度事業計画と予算に関する同意の件、沖縄サミットにあわせた南西諸島の自然保護の取り組み、新アセス法に対応する野鳥識別認定制度など。海上の森の保全と国営公園化を求める決議の採択や、全国87番目の支部として伊奈支部の設立など多くの報告もあり、盛りだくさんの内容でした。

活発な議論で疲れた後の懇親会では、黒田会長をはじめとする会の執行部、全国の評議員達、支部の年末講演会でお世話になったことのある蒲谷鶴彦氏、松田輝夫氏らとも、歓談の時間を過ごすことができました。

### ●『野鳥』と『しらこばと』同封発送を検討

本部の財政状態が逼迫している中、経費削減の一方法として、『野鳥』と各支部の支部報を同封発送することが検討されています。

従来、別々に三種郵便の認可を受けたものは、別々に発送しなければならなかつたのですが、郵政省との折衝の結果、同封発送可との回答が得られたものです。

現在検討が進められているのは、東京支部と埼玉県支部の2支部ですが、その他の支部

にも普及しそうです。

試算では、『しらこばと』との同封発送で、支部が年間約40万円、本部が年間約50万円程度削減できそうですが、『野鳥』の封筒に同封されるので、封筒表面からは支部の名前が見えないこと、支部が年12回発行に対して、本部は11回であること、支部報の編集発行のサイクルの見直しが必要なことなど、多くの問題点もあります。支部の役員会や編集部会でも更に検討を進めます。

なお、同封発送される場合でも、対象は個人特別会員と総合会員を合わせた1800名程度の分だけです。支部型会員等500名程度の分の「袋づめの会」は、引き続き必要です。

### ●4月の事務局 土曜と日曜の予定

- 1日(土) 普及部会議。
- 2日(日) シラコバト見つけ隊会議。
- 15日(土) 編集会議、研究部会議。
- 16日(日) 役員会議。
- 22日(土) 校正作業。
- 29日(土) 袋づめの会。

### ●会員数は

3月15日現在2,970人です。

## 活動報告

2月5日(土) 普及部会議。  
2月6日(日) シラコバト見つけ隊会議。  
2月12日(土) 森林公園で冬のモニタリング調査(研究部)。  
2月13日(日) 編集会議。  
2月19日(土) 校正作業(海老原美夫)。  
2月20日(日) 役員会議(司会:高草木泰行、行事予定・評議員会への対応。その他)。  
2月28日(月) 3月号を郵便局から発送(倉林宗太郎・藤掛保司)。

## 編集後記

「チョコエッグ」というお菓子のオマケを集めている。なかなか良く出来た動物の模型なのだ。ほとんど毎日食べているので、お目当てが出ないと、太り損だ。(何森28)

『しらこばと』2000年4月号(第192号)

発行人 中島康夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
〒336-0012 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130  
インターネットホームページ <http://www.bekkoame.or.jp/ro/wbsj-saitm/>

住所変更・退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階  
(財)日本野鳥の会会員センター業務室 TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事はすべて上記ホームページに転載されます。本誌から、またはホームページからの無断転載は、かたくお断わりします) 再生紙使用